

講義ユニット名	地域医療		所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	まつもと まさとし 松本 正俊	所属	地域医療システム学	
講義ユニット コーディネーター	まつもと まさとし 松本 正俊	所属	地域医療システム学	
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。			
概 要	地域医療の在り方と現状および課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を身につける。			
講義ユニットの 到達目標	地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。 医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。 地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。 地域医療に積極的に参加・貢献する。 経済的側面や制度的側面をふまえた上で、医療現場の実践を評価できる。 在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。 在宅医療の在り方、今後の必要性和課題を概説できる。 在宅医療における多職種連携の重要性を説明できる。 褥瘡の予防、評価、処置・治療及びチーム医療の重要性を説明できる。 在宅における人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題を概説できる。 介護の定義と種類を説明できる。 日常生活動作<ADL>（排泄、摂食、入浴等）に応じた介護と環境整備の要点を概説できる。 地域包括ケアシステムと介護保険制度、障害者総合支援法等の医療保健福祉制度を概説できる。			
講義日程	別紙日程表を参照のこと			
出席の取り扱い	毎回のミニテストにて出席の確認をする。ミニテストは講義中に紙で配布し回収あるいはオンライン回答。講義終了後にミニテストを取りに来て渡すことはできない、また授業中にアナウンスした制限時間までオンライン回答しなかった場合も欠席と見なす。「テスト配布時トイレに行っていた」「オンライン回答が締め切りを1分過ぎた」といった申し出が毎年のようにあるが、これらは一切認めない。			
評価項目	地域医療に関する理解を確認する。			
評価法	毎回の講義中に実施するミニテストの結果と授業態度で評価する。			
予習・復習への アドバイス	予習は不要。復習は講義資料および以下の参考書が良いと思われる。			
推奨参考書	【購入を推奨する参考書】 地域医療学入門 日本医学教育学会/全国地域医療教育協議会監修 岡崎仁昭/松本正俊 責任編集 診断と治療社			